ミス日本ニュース

Miss Japan News 20年4月3日
2020年３月分　(一社)ミス日本協会

Japan. Committed to SDGs

特集：ミス日本がSDGsに取り組む理由

週刊東洋経済4月4日号（3月30日発売）
GP小田安珠とミス日本協会がSDGsへの貢献を宣言した2017年からの取り組みと効果を紹介しています。(エプソン販売提供)

　ミス日本協会は**「日本らしい美しさの力で社会をよりよくする」ことが目的**です。美しさの力は老若男女誰でも磨くことができるとし、特に応募者や出場者に成長機会を提供してまいりました。受賞に関わらず、**ジェンダー平等を推し進める上で欠かせない社会進出する実力を養うカリキュラム**を毎年更新しています。

　2030年のSDGsゴール年ごろには、社会ではSDGs経営や理解が当たり前になっている可能性があります。ミス日本協会はこれからも次世代の活躍のために成長機会を提供し、誰しもが持つ「美しさ＝魅力」の発揮を促してまいります。

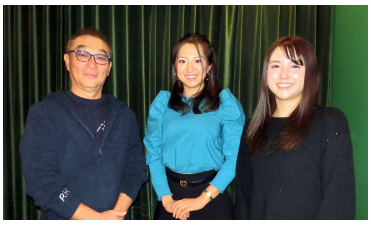
※記事は東洋経済オンラインにて一部をご覧いただけます。

3/25　総理官邸にてCLT広報大使に就任したみどりの女神井戸川。就任あいさつでは母校中央大学が建設中の新キャンパスにもCLTが取り入れられていることを紹介し、一層の普及に貢献することを宣言。

19日　オリパラ組織委員会会長代行の遠藤利明さまとスケート連盟会長の長島昭久さまを表敬。
来年延期のオリンピック、一緒に頑張りましょう。

19日　元オーストラリア首相を招いてのフォーラム。インド太平洋地域から見た世界視点に日本がどのように関わるかを考える機会に。

3日 歴代みどりの女神が千葉県長柄町でDIY家づくりに挑む動画シリーズ収録第二回。井戸川は手先の器用さを武器に加工を進めていきます。すでに第1回は公開済み。“長柄林泊”で検索！



4日　競輪レジェンド中野浩一のラジオにて、スポーツへの熱い想いをぶつけ合うミススポーツ田中。

★3月の活動★

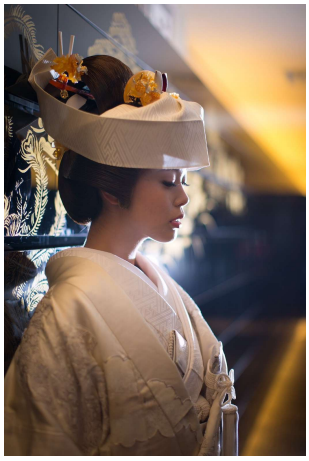
週刊東洋経済4月4日号(3月30日発売) BRIDE取材記事掲載 /小田
東洋経済オンライン SDGsLab Vol13 今,なぜミス日本がSDGsに貢献するのか(前編)
東洋経済オンライン SDGsLab Vol14 今,なぜミス日本がSDGsに貢献するのか(後編)
21日,28日　TBSラジオ「中野浩一のフリートーク」放送/田中

2日　東京都森林事務所　多摩産材現場視察＆YOUテレビ撮影/井戸川
　　所沢市市報取材 /19藤本
3日　千葉県長柄町セルフヴィルドヴィレッジ DIY動画撮影/井戸川,17野中
4日　TBSラジオ「中野浩一のフリートーク」収録/田中
9日　【ミス日本協会の新事務所OPEN（京王プラザホテル南館9階)】
19日　日本国際フォーラム 世界の深層 講演会ゲスト/小田,田中,青木
23日　表敬訪問 中央大学 /井戸川
25日　表敬訪問 東京オリ・パラ競技大会組織委員会 会長代行 遠藤利明さま
　　表敬訪問 日本スケート連盟 会長 長島昭久さま／小田,中村,森谷,田中,青木
　　CLT広報大使委嘱式 /井戸川
26日　八王子市広報誌「はちまる」取材撮影/井戸川

2日 東京都が誇るブランド木材 多摩産材を追う視察

26日 八王子市の広報誌撮影

23日 井戸川が在学する中央大学を表敬



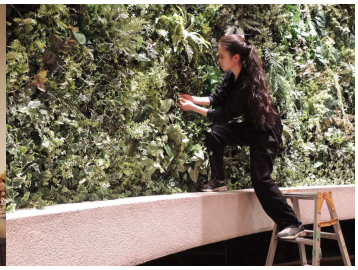
OGの履歴書 第21回

鈴木恵梨佳さん

2011年度東京きものの女王受賞。
2013年度ミス日本グランプリ受賞。
　(受賞時は日本大学 生物資源科学部 植物資源科学科)
ミス日本運営委員会委員。
任期後は造園業に勤め、結婚を機にウェディングの所作やポージングのレッスン講師として活動している。

ミス日本を振り返って

　私にとってミス日本は、語り尽くせないほどの学びを頂いた機会でした。中でもファイナリストの時、好きだった着物について何も語ることの出来ない自分に気付き、ご縁のあった作家や着付けの先生の元へ京都修業に行って、何に心が動き惹かれるのか自分を見つめ直した時間は一生の宝物になりました。仕事やプライベートで人生の分岐点に立った時、いつもあの頃に学んだ自分との向き合い方が後悔のない道へ導いてくれています。



任期後の活動について

　造園の道へ進み、ミス日本のご縁から秋篠宮様が御登壇になるステージの装花など光栄なお仕事も頂きました。弟子入りは週6勤務で帰宅は夜遅く体力勝負の日々でしたが、早朝や休日に着物モデルを続けていました。造園一筋で極めなくては師匠のようになれないと分かっていながら、追われるような忙しさを過ごしていくうちに、本当にやりたい事が何だったのかを見失ってしまいました。
　悩み抜いた結果、周りの皆様の温かいご理解の元"やりたい事を全部やってみよう！"と一念発起。造園の仕事を減らし、まずは祖母と二人で帯をモチーフにした着物雑貨の作家活動をスタートしました。

有難いご縁で百貨店や海外で販売する機会を頂き、大好きな着物にもっと携わる仕事を始められました。
　その後結婚が決まり、憧れだった結婚式のセルフプロデュースをしました。師匠にサポートしてもらいながら高砂のデザインをし、司会やカメラマン、ケーキ等の手配、前日には丸一日かけセッティングして、こだわりの結婚式を挙げることができました。
　その過程では本当に多くのご縁に助けて頂いたので今度は自分が誰かの役に立てたらと準備中の気付きや結婚式の詳細なレポート、モデルやミス日本として身につけた和装やドレスでの立ち振る舞い等をSNSやブログにまとめたところ、世界文化社×ウェディングソムリエの"花嫁の学校"で所作＆ポージングレッスン講師の機会を頂きました。

そこで花嫁さん達よりご好評頂き、今ではプライベートレッスンを開ける様になりました。レッスンでは新郎新婦としての立ち振る舞いを式のみならず、その後の結婚生活でも活かせる相手を思い合うコミニケーションツールとして伝えています。夫婦として大切なことにも気づけたと感想を頂く度に、"自分の考えをまとめ伝える"というミス日本で学んだスキルを向上出来ているように感じ嬉しいです。

　2013年というオリンピック招致の年にミス日本に選ばれ、2020年は私にとって大きな節目の年となっていました。そんな年のはじめにお受けしたレッスン講師の機会は、自分の経験から幸せのお手伝いが出来た有難い時間で、私をここまで導いて下さったたくさんのご縁への恩返しである"御恩送り"の一歩を踏み出せたように思います。
　ミス日本の頃に思い描いていた2020年の私と今の私は違いますが、あの頃の私にさまざまな挑戦で得た学びは全て今へ繋がっていると自信持って伝えられる事を嬉しく思います。そしてこれからもたくさんの事に挑戦し、その学びをいつかの自分のため、また誰かの幸せに繋げていけるよう努めていきたいです。